

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東北)		-	-
		スーパー（経営者）	・緊急事態宣言が継続していれば変わらないが、緊急事態宣言が解除され元の自由な状態に戻れば、気分的な部分も含め上向いてくるとみている。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスは、まだまだ不透明だが、少しずつ終息に向かっているという希望を持っている。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスが終息に向かえば、来客数も増えて消費が戻ってくる。
		衣料品専門店（店長）	・現状が底だとすれば今よりは少しずつ回復していくとみているが、通常に戻るには1年くらいは掛かる。
		家電量販店（従業員）	・現金10万円の一律給付の効果が、新型コロナウイルスが落ち着けば大きく出てくると思うが、5月から支給が開始されたとして、5～6月は良い方向に行くのではないが、それ以降は政府が追加策を出してくれれば継続する可能性は大いにある。
		観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況によるが、終息してくれば休業している今よりは良くなるとみている。しかしながら、売上は前年比50%くらいになると予想される。
		その他住宅投資の動向を把握できる者（住宅展示場運営会社）	・外出、営業自粛の要請が長引くことを予想しているが、3か月後は現在よりも店舗の稼働日数が確保できるとみているので、景気が回復すると考えている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルスが終息すれば変わるかもしれないが、終息しないようならば売上40%増加という現在の状況で推移するとみている。
		百貨店（売場主任）	・先が見えない状況。客と従業員の安全確保と、自粛緩和や経済活動とのバランスがどうなっていくのか、どのように対応していけば良いのか判断が難しい。
		百貨店（買付担当）	・新型コロナウイルスの全国的な終息がみえなければ変わらない。
		百貨店（経営者）	・現状では平常営業への戻りは未定である。来店不要のオンラインへのシフトを進めるが、店舗売上をカバーするには至らない。今は、客との関係づくりの維持に取り組んでいくしかない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスが依然終息していないので、まだしばらくは現在の良い状態が続くとみている。流通業界ならではの状況なのかなと思っている。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの終息次第であり、現段階では予想できない。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス特需というか内食需要が高まっているので、ここしばらく食料品は好調に推移しており、この先も続く可能性がある。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが沈静化し、人の動きが少しでも活発になれば良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス関係の自粛がいつまで続くかによって状況が変わるが、全く予想がつかない状況である。今後の緊急事態宣言の継続状況により変わってくる。
		衣料品専門店（経営者）	・観桜会や夏祭りの中止やスポーツの大会も全て中止で、観光客もなく祭り用品や土産品の売上が全く見込めない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で個人客の販売量がかなり落ちている。
		住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息を待たなければ経済が回らないので、そのときを待つのみである。
	その他専門店〔靴〕（従業員）	・良くなる要素はない。新型コロナウイルスの終息を願うのみである。	
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響は読めないが、現状のままで推移するとみている。	
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息によって社会情勢が改善し景気が回復することになっても、業界の売上に直結することはなく変化は見込めない。	
	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いてくれば、ある程度消費も戻ってくるとの期待感を持っている。	

	観光型旅館（スタッフ）	・新型コロナウイルスが終息しないことには変化はないと考える。新型コロナウイルス終息後に、ある程度観光助成などでの利用は見込めるが、一時的なもので終わるのではないかとみている。
	タクシー運転手	・来月で新型コロナウイルスが終わりを迎えたとしても義務教育の夏休みが短縮になりそうなことから、家族連れの外出費額が伸びないと推察される。
	通信会社（営業担当）	・しばらくは新型コロナウイルスの影響によりテレワーク関連以外の客の購買意欲が余りない状況が継続するとみている。
	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が2～3か月で改善するとは想像できない。販売量の前年比減少分は、いずれ店舗で購入するというよりも、オンラインで購入を済ませているので、反動で需要の波が来るとも考えられない。
	観光名所（職員）	・周りの状況や報道を見ても、良くなる兆しがみえない。新型コロナウイルスの新薬やワクチンが開発されれば状況も変わるかもしれないが、2～3か月では難しいとみている。
	競艇場（職員）	・いつ再開するのか分からない状態にある。3～4月は営業0日なので先が見えない。5月以降の営業についても現在未定である。
	美容室（経営者）	・ほとんどが固定客なので、決まったサイクルで訪れる。
	スーパー（店長）	・緊急事態宣言のなか、スーパーという業態特有の来客数増、売上増が続いている。
	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの沈静化が進めば、現状の特需も収まり通常に戻る。
	スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染防止関係で、営業時間の短縮や入店規制等、行政指導で環境は厳しくなると予測される。客の収入面での減少の影響が出てくる可能性も視野に入れるとやや悪くなるとみられる。
	コンビニ（エリア担当）	・東北各地の夏祭り中止が既に決定されており、夏の消費低減が予測される。
	コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言解除の延長懸念もある。
	家電量販店（店長）	・白物家電に関しては、故障、買換えの需要は確実にあるのだが、今後新型コロナウイルス問題により景気後退が予想される。たまたま特需がきていたが、景気後退になるのではないかと考えている。
	乗用車販売店（従業員）	・画期的な新型コロナウイルスへの対抗策があれば別だが、終息がみえないなかでの事業活動となれば、前年10月の消費税増税もあり、今以上の受注量は見込めない。受注量が見込めないとすれば、当然登録にならないので売上高は見込めない。
	乗用車販売店（本部）	・このまま外出自粛が続くようだとサービス入庫客の大幅減も想定される。既に車検の延長措置を利用する客も相当数いて、更に増加見込みである。
	通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言に伴う営業活動の制限が響いており、経済活動再開状況にもよるが、2～3か月後に宣言前の状態に戻ることは難しいものと想定している。
	住宅販売会社（経営者）	・法人用建築用地の契約が未期限延期になっている。
	その他住宅[リフォーム]（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着くまで訪問の延期が増えている。積極的な営業を自粛する。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの流行は短期で終わりそうにない。今年一杯くらいはいろいろと影響があるとみている。
×	商店街（代表者）	・例年多くの集客がある5月の各種イベントも中止になり、また年間最大イベントの8月のねぶた祭りも中止となることが決定した。集客及び客の流れもどんどん悪くなっていくことが予想される。
×	商店街（代表者）	・緊急事態宣言が出され商店街のイベントも中止となっている。新型コロナウイルス感染症が終息しない限り、このような状況が続く商店街にとっても大打撃である。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響は長期化するとみている。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの終息がみえない不安感がある。
×	一般小売店[書籍]（経営者）	・当県は感染者がいないので、大きなダメージはないが、不要不急の外出を抑えるという動きがある以上、全体的な商況は厳しい状態が続くとみられる。

×	一般小売店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着いて飲食店が平常になるまでは悪い状況が続く。飲食店を辞める店も多いので良くなるとは考えられない。
×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの問題が解決しない限り経済はストップしたままで、絶望的な状況である。4月一杯で、歴史のあるラーメン屋やお豆腐屋が店仕舞いしている。また、街の中では夜逃げも始まっており、非常に大変な状況になっている。
×	一般小売店〔酒〕（経営者）	・まだまだ感染者が出ているこの状況で、数か月先の景気など見通せる訳がない。今月、来週、今日の状況も分からない不安の中で経営を続けていくのは精神的に本当にきつい。今月末の支払日に満額支払ができる取引先がどれだけあるのかを考えると不安でたまらない。
×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・客は買いだめをしており、需要を先食いしているという認識であったが、それを裏書するように、連休が近くなるにつれて来客数、客単価も悪化してきている。例年なら連休が迫るにつれ売上が大幅に伸びるところだが、今年はそうっていない。
×	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響のため、どうにも動くことができないでいる。
×	スーパー（経営者）	・5月は緊急事態宣言が継続され、経済、社会活動は更に停滞し、赤字企業、倒産、休業等の企業も増え、収入や所得がなくなる方も激増し、生活環境は厳しさを増し、消費はますます悪化するとみている。一部輸入食品の未入荷も始めている。代替商品含め、メーカー、生産者、物流業者と協力し合い、必要な食品の安定供給に一層尽力していく。1日も早く実効性の高い新型コロナウイルス感染防止対策、終息化対策を集中して進めてほしい。
×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は不透明である。
×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスショックは継続している。緊急事態宣言を延長するとの報道もあり、マインドシェアは非常に落ちている。新薬、ワクチンの開発を待つより先に地元経済が疲弊し、デフレに陥っている状況である。
×	スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルス終息の見通しが立たないなか、地元産業の拡販期にマイナスの影響が出れば、地域経済の破綻にも影響しかねない。
×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がはっきりみえないなか、当店の立地条件では在宅勤務が増え、各種町の行事の中止が相次ぎ、先がみえない状況である。現在時短営業をしているが、土日の休業も考えている。
×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者はまだ出ていないが、外出自粛により観光客も訪れないため悪くなっていく。
×	コンビニ（経営者）	・これからどれくらいで下げ止まるか分からず、不安である。
×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスや自粛要請にも左右されるが、しばらく厳しい日々が続く。景気の悪化も避けられないのでコンビニを利用する人も減る。力尽きてやめるオーナーが続出するのではなからうか。
×	コンビニ（経営者）	・この2～3か月で新型コロナウイルスが終息することはありえない。
×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスによる外出自粛が続く限りは厳しい。
×	コンビニ（店長）	・いろいろな業種で仕事が減っており、客の懐も寒いということもあり、また会社も100%の人員で出社してこないというような状況なので、仮に緊急事態宣言が明けても元に戻るには1年以上掛かるのではないかと、あるいは元のようなサイクルに戻ることはないのではないかと懸念がある。見通しは非常に暗い。
×	衣料品専門店（経営者）	・緊急事態宣言延長の可能性が出ているなかで、どこまで景気が後退するのか先がみえない。
×	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大が終息しないと、仕事用であるいは結婚式用のニーズは非常に厳しい状況が続くと予想している。
×	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの終息がいつになるか分からないため景気低迷が続き、更に消費が冷え込む。
×	衣料品専門店（総務担当）	・新型コロナウイルスの終息がみられず、要請に対応することにより営業ができない。

×	乗用車販売店（従業員）	・連休明けまで自粛期間になっているが、その後も新型コロナウイルスの感染が縮小するとは考えにくい。よってまだしばらくはこの状況が続く。
×	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で電話での営業活動しかできないため、終息しない限りは景気は改善しない。
×	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着かないうちは良くならない。
×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・少なくとも地方では休止や閉めた飲食店は再開や居抜きで入ることはないとみている。見込みが立ったとしてもかなり長期にわたり影響が出てくる。経済への影響を軽減するための直ちに使える緊急措置が必要。しかし、現在の措置は返済期間や担保といった条件がネックになり非常に使いにくく、限定的にしか使えない。皆不安が募っている。
×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、先の景気は悲観的な見方しかできない。
×	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・まだまだ先がみえずに困惑している。たとえ落ち着いたとしても以前のような生活には戻れない気がする。新しい時代が来ると思われるのだが、果たしてそれに対応していけるのか、不安ばかりが先行している。売上に関して言えば望むべくもない状況である。
×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しても景気が元に戻るとも思えない。相当厳しい状況が続くことが予想される。
×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が見込めない以上、厳しさは更に増すのではないかと。今はどん底なので、これ以上下がらないという意味では変わらないという言い方もできるが、飲食店以外の業種にまで悪い影響が広がっていくことが予想される。事業継続が非常に厳しい状況である。
×	一般レストラン（経営者）	・東日本大震災のときとは違って復興が目に見えてこない。新型コロナウイルスの終息が一番の解決策になる。
×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン等ができない限り人が外に出てこないで、現在のひどい状況は当分続く。
×	一般レストラン（経営者）	・既に新型コロナウイルスの影響でまともに生活すらできない人が増えていることを考えれば、終息したとしてもそれまでの打撃が痛過ぎて外食しようとする余力が当分はないことが予想できる。
×	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスによる混乱は2～3か月で収まることはないかとみている。
×	旅行代理店（経営者）	・先が全くみえない。新型コロナウイルスの終息がみえたとしても、旅行が戻ってくるのはそこから3か月後になるので非常に厳しい。インターハイの中止も決まり、イベントも軒並み中止になっているので悪いとしかいえない。
×	旅行代理店（従業員）	・2～3か月先に新型コロナウイルスが終息し、通常どおり営業できているかは不明である。終息に向かったとしてもまずは域内需要が復調するにとどまり、終息を迎えなければ需要の復活は難しい。さらに、宿泊施設や運輸機関等の倒産件数が増加することが想定され、業界全体の景気回復には時間を要する。
×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症が終息しなければ回復の兆しはなく、悪化傾向に変わりはない。
×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で先がみえない。解決してもすぐに回復するとは考えにくい。
×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの終息がはっきりみえず、日常生活を含めて他の事業者も先の展開がみえない状況であり、我々も先の状況がみえない。
×	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえないため状況は深刻度を増し、景気はもっと悪くなる。
×	通信会社（営業担当）	・今後、新型コロナウイルスショックの影響がかなりのダメージとなる。ワクチンの適用時期が約1年前後と予想されているが、終息時期は未定であり、当面は景気の悪化に歯止めが掛からない。
×	通信会社（営業担当）	・客先への訪問が積極的にできない限り、加入者の増加は望めない。また、インターネット等の申込みはあるものの、自宅内での工事が伴うため工事前にキャンセルになるなど、思うようには対応ができない。
×	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息には時間が掛かるとみている。
×	テーマパーク（職員）	・営業を再開できるかが未定である。

	×	観光名所（職員）	・新型コロナウイルスがこういった形で終息するのかがみえない状況にある。生活に関係がない観光は景気回復においても後回しにされると考えており不安である。最終的にこのように落ち着くという答えがみえない限り景気は回復しないと考えている。
	×	遊園地（経営者）	・当初計画どおりの営業施策をとる予定ではあるが、新型コロナウイルスの状況次第で消費が戻ることは期待できない。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響はいつまで続くか見当が付かない。今より更に悪くなる可能性も残っている。
	×	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・もはや存続できない会社や商店が多数あるため、数年間は大不況時代になると予想している。
	×	設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの状況により様子は大きく変化する。最悪の場合、建築設計業界としては案件の遅延や中止が多く発生し、予想売上の確保がおぼつかない状況になる可能性が高くなる。会社を運営するためのダンピングも重なり、リーマンショックよりも厳しい経済状況に陥る。
企業 動向 関連  (東北)		-	-
		建設業（従業員）	・新型コロナウイルスの終息時期によって見通しは変わってくるが、あと1～2か月で終息すると想定した場合、新型コロナウイルスショックへの経済対策による公共投資増の可能性は十分考えられる。その場合は公共工事を中心に発注の前倒し等も予想される。一方で民間企業の設備投資の多くは凍結が予想される。
		通信業（営業担当）	・客の前向きな反応を見逃すことなく、今後も寄り添った客対応を継続していく。
		その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・外食に出掛けても問題ない、ホテルで会合を開いても問題ないという状況がどのように訪れるのが見通せない。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が全くみえないなかで、受注依存型の当方としては打つ手がなく、現況が継続すると覚悟している。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しないと観光客も来ず大きなダメージとなる。
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響により、更なる業績の悪化が見込まれる。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響は今後更に半導体業界を悪い方向に向かわせると予想される。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえないので、経済は回復せず、悪化していくと予想している。
		建設業（企画担当）	・建設現場においては機械化や自動化が進んできているとはいえ、まだまだ従来型のマンパワー集積によるところが大きい。今後、新型コロナウイルス感染が拡大した場合、職人の確保が難しく、代替案のない事態に直面する可能性もあるとみている。
		通信業（営業担当）	・テレワーク化や学校のオンライン授業検討によって、モバイルルーターやタブレットなどの相談が増えている。ただし、取引先の先行き不安により、受注に至るかは厳しい。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの長期化で多くの業種に悪影響が及んでいる。
		金融業（広報担当）	・新型コロナウイルス禍の長期化が予想され、大規模観光イベントの中止も相次いでいるなか、観光業界を始めとした人の流れが2～3か月で回復することは想定しづらい。一方、営業自粛が長引いた事業者の運転資金や生活資金が枯渇するシナリオについては現実味が高い。
		広告業協会（役員）	・いつ緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスが終息に向かうのか分からない状況で、2～3か月先の広告業界の景気を示すのは難しいが、既に8月の祭りも中止が決定されており、例年並みの通常の状態に戻るにはかなりの時間を要する見込みである。
	司法書士	・現状、不要不急に属する業種についての需要減は致し方ない。	
	コピーサービス業（従業員）	・客が店を閉店させたり、出先を閉鎖したりして、当社が設置している機械が戻ってくるケースが最近出てきている。メンテナンスする機械の減少は売上に響く。新型コロナウイルスの終息が見えないだけに先行きに不安がある。	
	その他企業〔協同組合〕（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、海外向け新規案件の受注量は減少し、部品調達の納入も困難となっている。	

		農林水産業（従業者）	・新型コロナウイルスがいつ収まるのか見通せず、これから果物の収穫時期に入っていくが、売行きが非常に悪くなるのではと心配している。
		農林水産業（従業者）	・さくらんぼ観光果樹園の来客数減による市場への供給増、新型コロナウイルスの流行による店舗売上減等により、さくらんぼの価格が大幅に下落することが予想される。
		食料品製造業（経営者）	・仮に緊急事態宣言が5月7日に解除されたとしても、旅行や出張などは期待できず、土産購入や飲食の売上の回復は当分の間期待できない。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルスが完全に終息しないとプラスには転じず、見通しは暗い。
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・前月までの売上は例月の50%まで落ち込んでいた。この先の売上は、各種イベントの中止や新型コロナウイルス感染防止のためスーパーなどのチラシのキャンセルなども発生しており、例月の50%以下になりそうである。
		窯業・土石製品製造業（役員）	・新型コロナウイルスの影響で地域の経済活動が予想以上に停滞する。
		金属製品製造業（経営者）	・先が見えない状況で、販売の落ち込みはまだ底がみえない。
		輸送業（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出により、景気は更に悪化した。もともと前年の後半から貨物の荷動きが悪かったが、更に悪くなっている。また、燃油代が下がっていることもあり運賃の値下げ要請が出始めている。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスが6月に終息したとしても、すぐに売上が戻るとは考えにくい。絶望的な状況である。新型コロナウイルス対策資金のスムーズな融資に期待する。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの終息がいつになるか分からないが、長引けば長引くほど、企業も生活者も回復力を失ってしまうことを心配している。
		公認会計士	・建設業もゼネコンの工事現場一時閉鎖などにより、来月以降、下請への影響が出てくる。また、緊急事態宣言が解除されて人出が戻らない限り、飲食業の経営悪化も止まらない。今後2～3か月先はもっと厳しくなるとみている。
		その他非製造業〔飲食料 品卸売業〕（経営者）	・今のような新型コロナウイルスに対する政府の政策では、商売する人も一般の生活者も大変である。早く新型コロナウイルスから逃れて自由な行動ができ、自由に生活できるような状況を作らなければ需要は伸びない。これからますます大変になる。
雇用 関連  (東北)		-	-
		*	*
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・企業のイベントやキャンペーン等の販促活動はほとんど休止状態で、広告業界も混迷の極みである。ただし、テレワークやインターネット通販などのデジタル分野は活発で、それに合わせた業種の販促は少しずつ活性化してきている。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス関連の終息が見えないため、今より求人数が減る可能性が十分にある。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、まだまだ在宅ワークが広がっているとはいえないので、もう少し現在の悪化傾向が続くとみている。
		人材派遣会社（社員）	・4月の同一労働同一賃金の施行に伴って派遣契約の期限を6月に寄せた経緯もあって、全ての派遣契約の期限が6月末であるため、契約継続を当然視していた契約が不透明になっている。
		人材派遣会社（社員）	・婦人服や靴などの専門商社、飲食業、旅行業、ホテル業に加えて、建設業も現場が不足して資金繰りが難しくなるとか、建設資材あるいは清掃業も人手のやり繰りがつかず現場が回り切れないというところに影響が出てきている。影響の範囲が一部の業界ではなく全体に広まってきている。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響で、外資はほぼ全滅。国内はメーカー系は全滅に近い状況となっている。
		人材派遣会社（社員）	・経済、企業収益低下傾向脱出の兆しが見えるまでは悪化の一途をたどる。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス禍の影響が不透明である。
		アウトソーシング企業（社員）	・新型コロナウイルスの影響はしばらく続く。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く。

×	新聞社 [ 求人広告 ] ( 担当者 )	・地域の祭りやイベントが早くても8月まで、ほぼ全て中止となっている。景気が上向くタイミングは全く見通せず、秋口まで落ち込みは続くとみている。
×	職業安定所 ( 職員 )	・当初新型コロナウイルスの影響を訴えていた宿泊、飲食以外の、製造業など幅広い業種から新型コロナウイルスの影響による先行きの不透明感を訴える声が高まってきている。
×	学校 [ 専門学校 ]	・新型コロナウイルスの影響が長引き、終息の見込みが立たないのであれば、景気の低迷は続く。